

## 前年度と比べて、2.0%の減

3月定例議会において平成22年度当初予算案が可決されました。町の行政運営の基本となる一般会計当初予算は57億4,400万円、前年度58億6,200万円と比べ1億1,800万円、2.0%の減となりました。

また、町の全ての会計（一般会計・特別会計・企業会計）を合わせた予算総額は、95億4,603万5千円で、前年度96億8,119万3千円と比べ1億3,515万8千円、1.4%の減となりました。

## 平成22年度の予算編成にあたって

平成22年度は、依然として町税等の収入の減少が見込まれる中で、厳しい予算編成となりました。現行サービス維持に努めながらも、収入の減少に見合う支出とするため、経常的な経費については削減目標額を設定し千円単位で切り詰めを行いました。また、投資的な事業については、国の補助金を受けて行う建設事業や南魚沼市が行う広域施設整備（斎場、南魚沼消防庁舎建築など）への負担金事業を除き、必要最小限に縮減することで経費の削減を図りました。

その結果、建設事業等に対する町債（借金）は3億810万円と昨年度より8,620万円の減となりました。また、財政調整基金（町の貯金）の繰入額も予定事業分（三俣地域振興対策分）の1,810万円に抑え、前年度より4,602万3千円の減となりました。さらに建て替え、統合を予定している文教施設整備事業のための基金（貯金）積立金を5,000万円から1億円に増額しました。

平成22年度予算は現行サービスを低下させることなく予算のスリム化を図り、将来を見据えた財源の確保を図った予算となっています。

しかし、今後も収入の減少は続き、町の財政運営は益々厳しさを増してくると見込まれていくことから、財政を圧迫している要因をひとつひとつ精査し、事務事業の見直しを進め、財政の健全性の維持に努めていきます。

# 一般会計 対前年比2%減 57億4,400万円

## 平成22年度 一般会計新規事業等

### ▶総務課

町有施設整備事業（湯沢高原施設修繕他）	1200万円
国勢調査事業	440万5千円
参議院議員通常選挙費	959万4千円

### ▶町民課

子ども手当支給事業	1億3465万1千円
家庭用廃食油回収事業	44万3千円
町環境基本計画策定事業	78万7千円

### ▶健康福祉課

子宮頸がん予防ワクチン接種費助成	150万円
新型インフルエンザ予防接種費用	198万円

### ▶税務課

eLTAX（地方税ポータルシステム）整備事業	1239万9千円
------------------------	----------

### ▶産業観光課

ペレットストーブ購入費助成	50万円
着地型旅行商品開発事業	805万5千円
越後湯沢駅総合案内事業	498万7千円
中国等観光客誘致宣伝事業	100万円

### ▶地域整備課

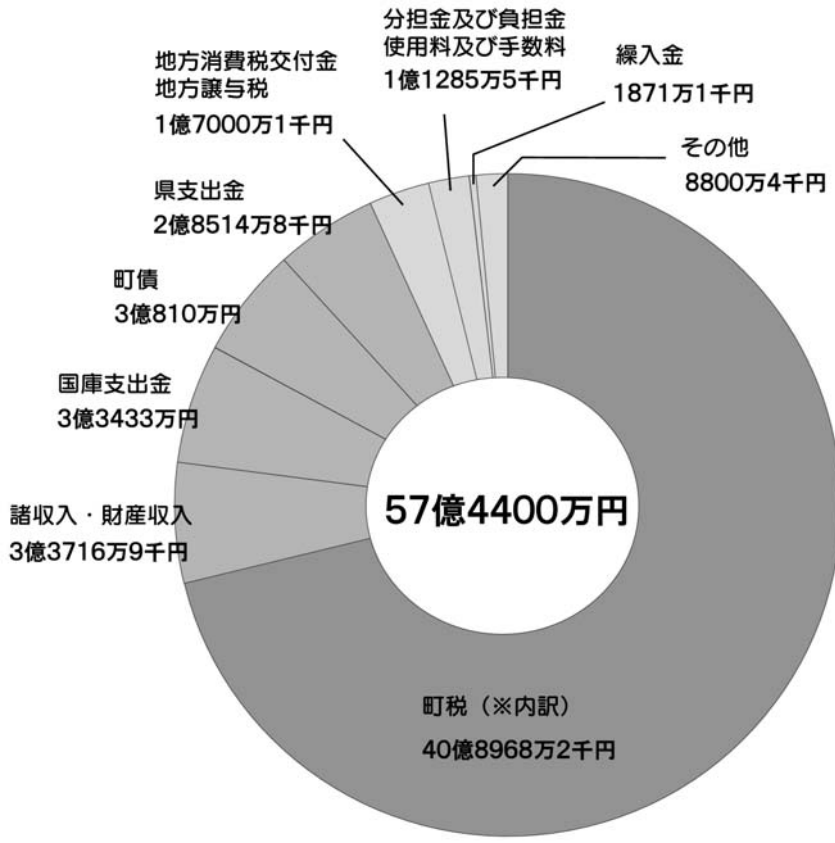
交通安全施設等整備事業 （主水・中島川原線歩道改修他）	6849万6千円
三俣地域振興対策事業 （下排水路・道の駅整備）	1億2168万9千円
中央公園整備事業 （トイレバリアフリー改修）他	6018万6千円

### ▶教育課

文教施設整備検討費	187万3千円
小学校体育館補強設計	1200万円
中学校補助教員配置	195万円

その他の内訳

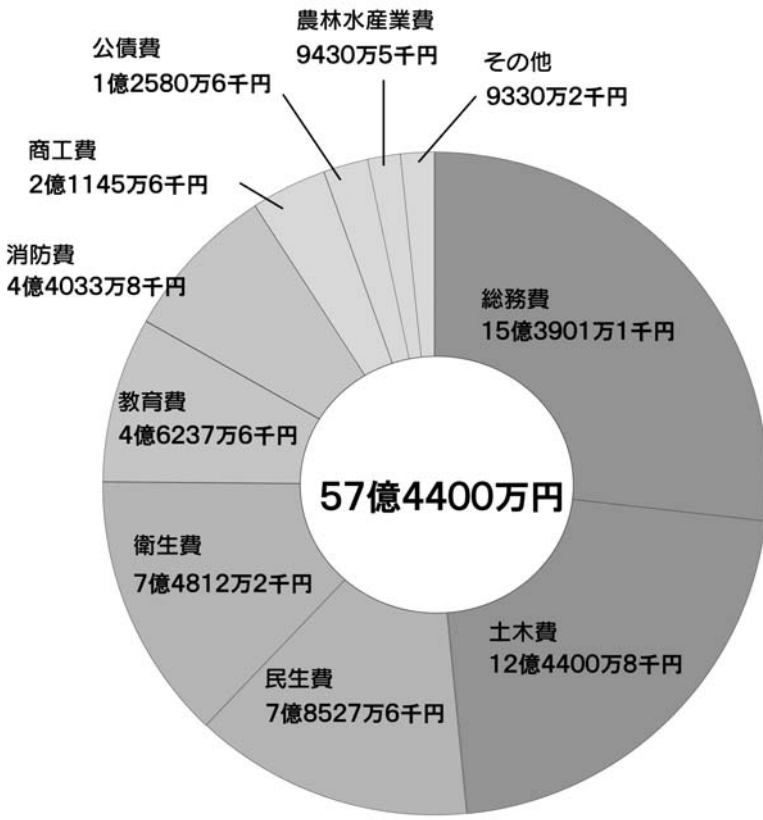
- 繰越金 5000万円
- 自動車取得税交付金 1500万1千円
- 地方特例交付金 1300万円
- ゴルフ場利用税交付金 400万円
- 利子割交付金 300万円
- 交通安全対策特別交付金 150万円
- 地方交付税 100万円
- 寄付金 50万1千円
- 配当割交付金 1千円
- 株式等譲渡所得割交付金 1千円



# 歳入

- 町税の内訳
- 固定資産税 33億80万6千円
  - 町民税 6億1441万円
  - 入湯税 9360万1千円
  - 町たばこ税 6339万円
  - 軽自動車税 1677万5千円
  - 都市計画税 70万円

# 平成22年度 湯沢町の 予算



# 歳出

- その他の内訳
- 議会費 5207万1千円
  - 予備費 2500万円
  - 災害復旧費 1251万8千円
  - 労働費 3712万円
  - 諸支出金 1千円

# 一般会計

## 歳入の前年度比較と増減のポイント

### 町税

償却資産の減価により固定資産税が、景気低迷の影響により町民税及びたばこ税が、それぞれ減少となる見込みです。  
 昨年度比 6,955万8千円減

### 町債

大規模建設事業等に必要資金は町債(借金)による資金調達を行うこととしましたが、昨年度より減少しています。  
 昨年度比 8,620万円減

### 県支出金

障害者自立支援対策交付金や自殺対策緊急強化基金事業補助金、ふるさと雇用再生特別基金事業補助金(観光案内、旅行商品開発事業等)が創設され、昨年度より増加しました。  
 昨年度比 3,229万1千円増

### 国庫支出金

こども手当の負担金や、三俣地域振興対策に係る街なみ環境整備事業、まちづくり交付金事業補助金分が増加しました。

昨年度比▼9,890万3千円増

### 使用料及び手数料

町営駐車場について、年間有料だったものを、冬季間のみ有料としたため、使用料が若干の減少となっています。  
 昨年度比 3,211万9千円減

平成22年度 町債予定事業

起債の目的	借入予定額
可燃ごみ処理施設整備事業	2400万円
不燃ごみ埋立処分施設整備事業	4580万円
中央公園整備事業	2700万円
交通安全施設等整備事業	2870万円
土樽自然公園等整備事業	3260万円
臨時財政対策債	1億5000万円

## 歳出の前年度比較と増減のポイント

### 議会費

議員報酬、期末手当が減少しました。  
 昨年度比 2,233万6千円減

### 総務費

ロープウェー施設修繕料、総計画策定、国際交流事業、三俣地域振興対策費等が増加しました。  
 昨年度比 6,810万1千円増

### 民生費

こども手当の創設により増加しました。  
 昨年度比 7,991万5千円増

### 衛生費

新型インフルエンザ予防接種助成費や、南魚沼市が行うストックヤードと斎場建設費負担金等により増加しました。  
 昨年度比 6,171万6千円増

### 労働費

ロープウェー体育センターの取壊しが完了したことにより減少しました。  
 昨年度比 7,894万9千円減

### 農林水産業費

農業用水路改修費や林野整備事業費が減少しました。  
 昨年度比 5,331万5千円減

### 商工費

信用保証料補給金や町制度資金の貸付金が減少しました。また、湯沢インター出入口看板等観光施設改修が終了したことにより減少しました。観光宣伝費は増加しており、基幹産業である観光振興に力をいれています。  
 昨年度比 4,877万8千円減

### 土木費

国の補助を受けて行う道路改良事業費や消雪施設整備費、除雪機械購入費、下水道特別会計への繰出金などが大きく減少しました。  
 昨年度比 2億3,211万円減

### 消防費

南魚沼消防庁舎建設費負担金が発生したことにより増となりました。  
 昨年度比 5,770万3千円増

### 教育費

学校施設整備基金への積立を増額しましたが、公民館や給食センターの設備改修を前年度の臨時交付金を活用して、前倒しで実施したため減少となりました。  
 昨年度比 3,222万9千円減

# 特別会計

特定の事業を行う場合、その事業の収入を支出に充て、一般会計と区別して経理する会計です。  
 平成22年度の特別会計は、次の5つとなっています。

会計名	予算額	前年比	前年予算額
国民健康保険	10億5887万2千円	-2.4%	10億8500万円
老人保健	37万円	-97.1%	1271万円
後期高齢者医療	8295万1千円	12.5%	7376万3千円
介護保険	7億589万6千円	1.2%	6億9777万円
下水道	10億7663万8千円	-1.4%	10億9159万円



## 国民健康保険特別会計

国民健康保険は、国民健康保険に加入している皆さんから納めていただく保険料が収入の柱となっています。支出では、皆さんが医療機関にかかったときに支払われる医療費のほか、40歳から74歳の被保険者を対象とした特定健康診査と特定保健指導のための経費や後期高齢者医療制度にともなう支援金を計上しています。また、出産育児一時金や人間ドックに対する助成金等の予算も計上しています。平成22年度では収入の不足による保険税の上昇を緩和するため、一般会計から通常分のほかに2,978万2千円の繰入を行っています。

## 老人保健特別会計

老人保健特別会計は、医療制度の改革により平成20年度から後期高齢者医療制度に移行され、過年度に支払われた医療費の精算のための予算が計上されています。平成22年度をもって廃止される会計です。

## 後期高齢者医療特別会計

高齢者のための適切な医療の確保を目的とし、平成20年度から新設された会計です。75歳以上の人が医療給付の対象（一定の障がいのある人は65歳から75歳未満も対象）となります。

収入では、皆さんから収めていただく保険料や制度を安定的に運営するための一般会計からの繰入金等を、支出では新潟県後期高齢者医療広域連合へ支払う納付金や徴収に係る経費等を予算計上しています。平成22年度では新潟県後期高齢者医療広域連合への納付金の増により、前年度と比較して918万8千円の増となっています。

## 介護保険特別会計

介護保険制度は、介護が必要な高齢者を社会全体で支える制度です。収入では、保険給付費に対する国・県からの負担金や一般会計からの繰入金、皆さんから収めていただく介護保険料等を計上しています。支出では、介護が必要な人への保険給付費をはじめ、温水健康体操教室などの介護予防事業を行うための予算を計上しています。平成22年度は保険給付費の増加により、前年度と比較して812万6千円の増となっています。

## 下水道特別会計

水質保全と健康で快適な生活環境の確保のための下水道整備等に係る予算を計上しています。

下水道特別会計は、今まで急激に設備投資を行ってきたた

め、借金の残高が多く、その返済のほとんどを一般会計からの繰入金に頼る構造となっています。また、昨年度から10年間で老朽化が進む湯沢・浅貝浄化センターの大規模改修事業を実施することとしており、平成22年度では1億5,900万円の予算を計上しています。このような状況の中、一般会計の財政状況も年々厳しくなってきたことから、下水道事業の経営基盤の強化を図るために使用料の見直しを行いました。結果、使用料収入で前年度と比較して2,277万1千円の増となっています。今後も普及率の向上に努めるとともに、経営基盤の安定化に努めていきます。

民間企業と同じように独立

## 企業会計

採算の会計で、経費は税金では無くそれぞれの収益で賄われます。

## 水道事業会計

収益的支出は、有収水量（料金徴収の基礎となった水量）の減少により、料金収入が昨年度から約1,200万円減少すると見込まれることから経費の抑制を図り、昨年度比で1,266万8千円の減となっています。

ます。資本的支出では、小坂簡水計装設備改修等の工事費の増により昨年度比で4,269万3千円の増となっています。今後も、効率的な事業の推進を図り、健全な運営を維持するとともに、安全で安定した水の供給に努めていきます。

## 病院事業会計

平成20年度から利用料金制に移行し、診療収入等は直接、（社）地域医療振興協会が受けることになりました。その結果、予算の規模は縮小し、収益的収入には一般会計からの補助金が、収益的支出には人件費や修繕費、地域医療振興協会への交付金などが計上されています。資本的支出では、エックス線画像処理システム購入費など、医療機器の更新にともなう予算を計上しています。

平成22年度の病院事業会計に対する一般会計からの補助金は1億2,000万円となっており、そのうちの800万円が、地域医療振興協会に経営健全化交付金として交付されます。

会計名		予算額	前年比	前年予算額
水道事業	収益的収入	3億7662万1千円	-3.2%	3億8888万円
	収益的支出	3億7157万4千円	-3.3%	3億8421万5千円
	資本的収入	2415万1千円	794.2%	270万1千円
	資本的支出	2億2067万6千円	24.0%	1億7798万3千円
病院事業	収益的収入	1億1007万1千円	-0.2%	1億1027万9千円
	収益的支出	1億6792万3千円	-4.9%	1億7658万円
	資本的収入	1億1030万5千円	0.2%	1億1008万2千円
	資本的支出	1億1713万5千円	-2.0%	1億1958万2千円